

2026年3月4日

薄膜高断熱材「ファインシュライト[®]」が トヨタの競技用チェアスキーに採用 ～極寒の競技環境下で選手の凍傷防止に貢献～

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）は、トヨタ自動車株式会社が開発した競技用チェアスキーにおいて、「薄膜高断熱材：ファインシュライト」が採用されたことをお知らせいたします。



薄膜高断熱材
ファインシュライト



ファインシュライトが
採用されたチェアスキー

チェアスキーは、座位カテゴリーの選手が使用するもので、1本のスキー板の上にシートが取り付けられています。シートとスキー板の間には、人間の膝と同じようにクッションの役割を担うフレームと、激しい滑走中でも脚が動かないように固定するカウルが取り付けられています。選手が、シューズ等を履かず下半身をカウル内に入れた状態で滑走するため、特に下半身が冷気にさらされやすく、マイナス30℃の厳しい環境下において選手の凍傷を防止する観点から、カウルの内側に断熱材が必要です。そこで、1.0mm以下でも高い断熱性能を持ちながらも柔らかく軽量である特長を持つファインシュライトが、選手の動作性や安全性を損なうことなく断熱性能を確保できる点も評価され、採用に至りました。

ファインシュライトは、航空宇宙産業でも使用される高断熱フィラー「シリカエアロゲル」を応用した製品です。シリカエアロゲルは非常に高い断熱性能を有する一方、極めて低比重で疎水性が高いため、塗料化が難しいとされてきました。当社は長年培った高分子材料技術を駆使し、塗料化に成功しました。現在は、フードデリバリーなどの定温保管・輸送に貢献する製品や、脱炭素に向けた工場設備にも活用されており、顧客の熱マネジメントに関する課題解決に寄与しています。

当社グループは、経営ビジョン「2029年 住友理工グループ Vision」で掲げる「持続可能な社会に向けた価値づくり」を推進しています。今後も社内外での共創のもと、技術の進化・融合による新たな価値創出を目指し、持続可能な社会に貢献する製品開発・事業展開を加速させてまいります。

<ファインシュライト特設ページ>

<https://www.sumitomoriko.co.jp/finesulight/>

※「ファインシュライト」は住友理工株式会社の登録商標です。

以上

----- 住友理工について -----

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェア（当社推定）の防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制動音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。世界20ヶ国以上に広がるグローバルネットワークを活用して、“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋
tel 052-571-0259 e-mail product.info@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>